

(別記様式)

会 議 の 概 要

会議の名称	令和元年度第1回木津川市環境審議会	
開催日時	令和元年11月20日(水) 10時00分～12時00分	
開催場所	木津川市役所5階 全員協議会室	
出席者 出席：■ 欠席：□	委員 (名簿順)	■橋本委員(会長) ■尾崎委員(副会長) ■大西委員 ■北委員 ■木原委員(浅井代理) ■立花委員 ■渡部委員 ■内村委員 ■江見委員
	オブザーバー	■遠藤オブザーバー ■森岡オブザーバー
	事務局	市民部：滋井部長、山本次長 まち美化推進課：高味課長、中谷係長、山上主任、竹村主事
議題	(1) 木津川市環境基本計画(現行計画)の進捗について (2) 第2次木津川市環境基本計画策定の策定方針・全体構成について (3) 第2次木津川市環境基本計画の策定スケジュールについて	
公開・非公開の別	公開	非公開の理由：-
傍聴人の数	2名	
会議資料	資料① 木津川市環境審議会委員名簿 資料② 木津川市環境審議会運営内規(案) 資料③ 木津川市環境基本計画(現行計画)の概要 資料④ 木津川市環境基本計画重点エコプロジェクト進捗管理表 資料⑤ 第2次木津川市環境基本計画の策定方針・全体構成(たたき台) 資料⑥ 第2次木津川市環境基本計画策定スケジュール(案) 参考資料① 環境に関する最近の動向 参考資料② 関係条例	
審議経過 ◎：議事・進行 ○：質問・意見 ⇒：説明・回答	1. 開 会 2. 市長挨拶 ◎河井市長から挨拶があった。 3. 会長・副会長選出 ◎橋本委員を会長に、尾崎委員を副会長にとの提案があり、全員一致で選出した。 4. 会長挨拶	

審議経過

◎：議事・進行

○：質問・意見

⇒：説明・回答

◎橋本会長から挨拶があった。

5. 諮問

◎河井市長から橋本会長に諮問が行われた。

諮問事項「第2次木津川市環境基本計画の策定について」

6. 委員自己紹介

◎各委員から自己紹介があった。

資料① 木津川市環境審議会委員名簿

7. 運営内規について

◎事務局から運営内規（案）について説明を受け、全員一致で原案通り決定した。

資料② 木津川市環境審議会運営内規（案）

参考資料② 関係条例

8. 議事

◎橋本会長から大西委員が会議記録署名委員に指名された。次回以降、名簿順に指名されることとなった。

(1) 木津川市環境基本計画（現行計画）の進捗について

◎事務局から現行計画の概要と進捗状況について説明を受け、審議を行った。

資料③ 木津川市環境基本計画（現行計画）の概要

資料④ 木津川市環境基本計画重点エコプロジェクト進捗管理表

○数値目標について未達項目が多いがどのように考えるか。

⇒数値目標は、目標年度（令和2年度）までに達成したいという思いを持っていますが、現実的にハードルが高い部分もあります。

各項目の状況・今後の方向性は、次のとおりです。

(市内河川の水質改善に係る数値目標)

・下水道整備や合併浄化槽設置の促進（補助金・啓発等）を図る。

(ごみの減量化に係る数値目標)

・有料指定袋制の導入による減量効果が出始めている。

(不法投棄の減少に係る数値目標)

・不法投棄パトロールの直営化、警察との連携を進めている。

(グリーンカーテンの設置率向上に係る数値目標)

審議経過

◎：議事・進行

○：質問・意見

⇒：説明・回答

- ・設置率向上に向けて施設の負担軽減策を検討する。

(温室効果ガスの排出量の減少)

- ・空調の温度設定等は厳しく管理しているが、電力会社の温室効果ガス排出係数の影響が大きく、市の努力に限界がある。関西電力の排出係数は毎年減少しており、これに伴って排出量は減少する見込み。更なる工夫も検討したい。

(アダプト・プログラムの登録者増加に係る数値目標)

- ・引き続き登録者の活動への各種支援を行う。

○現行計画の策定当時とは状況が変わっている項目も多く、単純には比較できないが、これから策定する計画においても数値目標は必要であり、色々なファクターを考慮して設定していくことになる。

○水洗化率、合併浄化槽の設置数はどのような状況か。また、ごみ有料化後のごみの減量化の状況はどうか。

⇒数値については、手持ち資料がなく第2回審議会でご報告します。

⇒環境の森センターきづがわに持ち込まれる可燃ごみ量を見ると、有料化後、木津川市の一人当たり可燃ごみ排出量は減少しています。

○温室効果ガス排出量の削減については、色々な自治体が苦労しているところ。電力は自由化されたので、今後の選択肢として再エネ比率の高い電力会社からの電力購入も検討すると良いのではないか。

○グリーンカーテンの設置率の目標値 100%は、非常に高いと感じた。水やりや場所の問題があり、日差しを遮るシェード等でも効果はあるので、他の手法を考えてみるのも良い。

○全体的に、現行計画の数値目標については、非常に野心的だという印象がある。

(2) 第2次木津川市環境基本計画策定の策定方針・全体構成について

◎事務局から現行計画の概要と進捗状況について説明を受け、審議を行った。

資料⑤ 第2次木津川市環境基本計画の策定方針・全体構成(たたき台)

参考資料① 環境に関する最近の動向

○キーワードとして、防災とマイクロプラスチックの問題については、意識しておく必要があるのではないか。

○マイクロプラスチックについては、国の環境基本計画にも記載されている問題である。防災については、別途「防災計画」があると思うので、その中で環境の切り口をどのように位置付けるかではないか。地球温暖化と防災はリンクする問題だが、環境基本計画の中に地球温暖化への「適応」という課題を位置づけるか検討して欲しい。

審議経過

◎：議事・進行

○：質問・意見

⇒：説明・回答

○今回の台風 19 号の被害状況は地域によって大きく異なっていた。
木津川市に、同レベルの大雨が降った場合は、被害が発生していたのではないかと思うが、防災についてどう考えるか。

⇒防災についてはインフラ整備とソフト面の対応の両方が重要だと考えています。木津川については、現在、国土交通省が、堤防の強靱化を進めており、また、赤田川についても樋門が設置されました。しかしながら、仮に破堤した場合のことも考えておく必要があり、災害ごみの処理方法等、庁内で検討を進めているところです。

○パリ協定等、大きな話が出ているが、木津川市との具体的な繋がりが見えてこない。現行計画の数値目標についても、市民にとってどのような意味を持つ数値なのかがわかりにくい。

木津川市における温暖化の状況や河川などの環境変化を示すことができれば、世界レベルの問題が身の回りに影響しているということ、子どもに伝えられるし、市民も具体的な行動に繋げやすい。

「身近な」という言葉は重要だと考える。

⇒過去の気象データ等を確認して、次回審議会で資料をお示ししたいと考えます。

⇒ご指摘のように、概念的な大きな目標を、市民一人ひとりの方に届く、身近なものにしていくことが大事だと考えています。

○木津川市は人口が増えているという説明があった。地球温暖化防止センターが京都府と連携して実施している夏休み省エネチャレンジでも、木津川市の参加児童数が増えている。

子どもが増えていることは、本当に素敵なことであり、ぜひキーワードとして、「子ども」や「子どもの未来」を入れて欲しい。

これから子どもが豊かに楽しく暮らしていける木津川市の地域づくりに繋がる環境基本計画となって欲しいし、そのために、大人・行政が何をするかを、しっかり考える必要がある。

○参考資料①の 23 ページに、京都府の環境基本計画の基本となる考え方が 2 点、記されている。

1 点目の「環境×経済×社会の統合的向上」について、環境基本計画のみでは、解決できない問題が多々ある。今回策定する計画では、様々な計画の中での関連づけや、一体的に解決していかなければならないということに触れておく必要があるのではないか。

2 点目の「人材育成とパートナーシップ強化」については、環境基本計画が出来た後の実行段階では、人材育成が大変重要であるため、具体的に書いておく必要がある。

<p>審 議 経 過</p> <p>◎：議事・進行 ○：質問・意見 ⇒：説明・回答</p>	<p>(3) 第2次木津川市環境基本計画の策定スケジュールについて</p> <p>◎事務局から策定スケジュール（案）について説明を受けた。</p> <p>資料⑥ 第2次木津川市環境基本計画策定スケジュール（案）</p> <p>(4) その他について</p> <p>◎事務局から次の事項について説明を受けた。</p> <p>(次回審議会の日程について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回審議会は2月開催予定です。近日中に、事務局から日程調整表を各委員に送付いたします。 <p>(次回審議会の資料について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の審議に必要な資料等があれば、年内を目途に、各委員から事務局まで連絡願います。 <p>9. 閉 会</p>
<p>そ の 他</p>	<p>特になし。</p>